

# 社会科（歴史）

コロナ休校中（5月）の課題



市川市立第四中学校

第2学年（ ）組（ ）番

氏名

--	--

## 社会科 5月の課題について

コロナ休校が5月末まで延長され、授業の遅れがはいよいよ深刻になってきました。今までの課題は復習的なものに加え、地理的分野の予習的なものも出してきましたが、今後の事を考え、中断している歴史的分野を先に進めていく必要がありません。そこで今回は、教科書の内容を元にした予習的課題を作成しました。以下に課題への取り組み方を記しておきますので、参考にして下さい。

1、教科書を読みながらプリントの空欄に穴埋めをして下さい。  
特に**教科書で太字**になっている部分は**赤ペン**で記入するとよいでしょう。

2、プリント内に**参考**となる資料のページや番号などが書かれています。「資」は資料集を表しています。より理解を深めるため、積極的に見るようにしましょう。

3、読みにくい漢字には「よみがな」を記しておきましょう。

例) 出雲の阿国 (いずものおくに)、三線 (さんしん)

この課題プリントは授業のノートの代わりになります。授業再開後に答え合わせを兼ねて授業で説明を加えていきます。プリントを紛失すると「ノート点」がなくなるので、必ず取り組んで、「歴史ノート」に挟んでおきましょう。なお、余裕のある人は、課題プリントの範囲のワーク（社会の自主学习）に取り組んでみて下さい。

### 3 戦国大名と豪商が担った安土桃山文化 99～101p

学習課題→織田信長や豊臣秀吉が登場した時代には、どのような特色をもった文化が展開したでしょうか。

戦乱の世の文化 (安土桃山文化) 信長…安土城、秀吉…伏見城 (桃山城)

戦国末期、戦国大名による ( ) の探掘→産出の増大

↓ 信長・秀吉の ( ) ・ ( ) →商業の活発化

京都・堺・博多を中心に豪商が台頭

戦国大名・豪商の経済力→壮大で豪華な文化

城の発達…山城→平山城 (小高い丘) ・平城へ 98 p ②～⑤

信長・秀吉…雄大な ( )、大広間、豪華な書院造、

ふすま・屏風… ( ) らの絵 (金箔を使用) 99 p ⑥⑦

らんま (ふすまの上部) … ( ) など精巧な彫刻 資 90 下

( ) …豪商と武将が交流、 ( ) がわび茶を完成→茶道へ

99 p 左下、資 91 p 上 (秀吉と対立)

### 海外から流入した文化の影響

南蛮貿易…ヨーロッパの影響を受けた文化 = ( ) 文化

( ) 学・医学・航海術などの流入、教会の建設 100 p ⑩南蛮寺

・南蛮風の服装の流行、カステラ・ ( ) 101 p 上⑫

・ポルトガル語が日本語へ… ( ) ・カタタなど 101 p ⑮言葉の交流

・日本語がポルトガル語へ… ( ) ・屏風

( ) の技術…天正遣欧少年使節、文禄・慶長の役で流入 100 p ⑩

( ) 字表記の印刷物が登場 資 91 p 左下、平家物語

朝鮮から陶磁器づくりの技術→ ( ) 焼 101 p 右上

### 今を楽しむ庶民

百姓・町人…戦乱の中、今を楽しもうとする気風

・小唄・おどりの流行、出雲の阿国の ( ) おどりが人気 100 p ⑨

・琉球の三線→三味線、演奏に合わせ浄瑠璃・ ( ) の完成

武士…将棋・囲碁・ ( ) などの広まり 101 p 右⑯

衣服…麻にかわり木綿 (通気性良く、染めやすい) が普及

( ) の登場



### 第3章 武士による支配の完成

102~103p

#### 1 幕藩体制の始まり

学習課題→江戸幕府は大名や朝廷を統制するために、どのようなしくみをつくったでしょうか。

##### 江戸時代の幕開け

秀吉の死後… ( )、勢力を伸ばす 資92・93p

1600年、( )の戦い…家康、豊臣方 ( )を破る

1603年、家康…朝廷から ( )に任命→江戸幕府を開く

江戸時代の始まり (約260年間)

1615年、( )の陣…豊臣氏をほろぼし、全国支配へ

資94p 方広寺の鐘→冬の陣・夏の陣

##### 江戸幕府のしくみ

幕府…多くの直轄地 ( ) = 直接支配 旗本・御家人 = 將軍直属の家来

旗本・御家人の領地を含め、( ) 万石 (後に700万石)

・主要都市 (大阪・京都・奈良・長崎など) 直轄地へ

・全国のおもな鉱山 (佐渡金山など) (収入源)

・ ( ) をつくる権利・ ( ) も独占

・強大な軍事力…旗本・御家人中心 「旗本八万騎」

・政治 ( ) が行い、( ) が補佐 102p左下④

三奉行 (寺社奉行・町奉行・勘定奉行) 等が分担

##### 幕府と藩の関係

大名 (1万石以上の領地) が幕領以外の土地をおもに支配

親藩 (徳川一門)、( ) 大名 (元々、徳川氏の家臣)

( ) 大名 (関ヶ原の頃から徳川氏に従う) に区別 103p⑤

・重要な役職…譜代大名・旗本が任命 老中は譜代、奉行は旗本

・藩 = 大名が支配する領域としくみ (独自の統治を認める)

・ ( ) 体制 = 幕府と藩が全国の土地と人々を支配するしくみ

##### 大名や朝廷の統制

( ) …築城や大名どうしの結婚などに制限 103p右下

違反など→国替や取りつぶし (改易) などを行い統制 資95p

3代徳川 ( ) … ( ) の制度を追加 多額の費用

大名は1年毎に江戸と領地を往来、妻子は江戸へ 重い負担 103p右上

御手伝普請…河川・城などの土木工事を大名に命じる

( ) →朝廷の監視、( ) 諸法度 →天皇や公家を統制

## 2 朱印船貿易から貿易統制へ

104~105p

学習課題→江戸幕府の外交・貿易政策は、国内政策との関係で、  
どのように変化したでしょうか。

### 東アジアと朱印船貿易

家康…対馬の ( ) 氏に交渉を命じ、朝鮮との国交回復

( ) と国交回復せず→正式な貿易はできず

東南アジアとの貿易継続、( ) ・イギリスとも貿易

貿易…大名や豪商に朱印状 (外国への渡航許可証) 104 p左:①②

貿易を統制下におき、利益を独占→収入の一部を幕府へ

・輸入…中国産の生糸・絹織物、輸出…おもに ( )

・東南アジア各地に ( ) …アユタヤ (タイ) の山田長政など

104 p 右上③地図

104 p 左下④資料

### キリスト教の禁止と貿易統制

家康…貿易の利益を優先、キリスト教を黙認→キリシタン急増

・スペイン・ポルトガルの日本侵略？

→ ( ) 年幕領で、翌年全国でキリスト教禁止 (禁教)

→宣教師の国外追放、キリシタンを迫害 資 101 p 上

・禁教の徹底…貿易港を制限→キリシタンは減らず

・徳川家光… ( ) 船の来航禁止、 ( ) (キリシタンを発見)

日本人の海外渡航・ ( ) 禁止、朱印船貿易も停止

絵略と踏絵の違いは？ 105 p ⑥⑦より

### 島原・天草一揆と宗門改め

資 101 p 中

島原 (長崎県) } 重い年貢取り立て、厳しいキリスト教弾圧

天草 (熊本県) } → 1637年 ( ) ・ ( ) → 一揆 (大将 = ( ))

幕府、大軍を送り、しずめる 105 p 右

・ ( ) の強化…領民が仏教徒であることを寺院が証明 資 101 p  
禁教が目的 → 結婚・出生・死亡や移転など記す戸籍の役割 右下

トライアル歴史 (106 ~ 107 p) やってみよう

ア 一揆軍に砲撃を加えたのは、資料 ( ) から考えて、

( ) 国の船だと思えます。

イ この国が幕府側で参加した理由は、資料 ( ) から考えて、

( ) だと思えます。

### 3 四つにしばられた貿易の窓口

108～109p

学習課題→幕府は、四つの窓口を通して世界とどのようにつながっていたでしょうか。

「鎖国」と四つの窓口

幕府の対外政策を、後に鎖国とよんだ

鎖国下で開かれた四つの窓口…長崎・対馬・薩摩・松前 109 p上⑤

- ・ ( ) …幕領とし、幕府が貿易を統制
- ・ 対馬・薩摩・松前…藩が幕府から外交・貿易を認められる

オランダと清への窓口 (長崎)

資 102 p

( ) が貿易を監督

遠国奉行の一つ

{ 輸出…銀・銅・海産物など

{ 輸入…中国産の生糸・絹織物・砂糖・薬種など

貿易相手国…中国・オランダのみ

布教をしない2か国

{ イギリス…貿易競争に敗れ ( ) の商館を閉鎖、拠点をインドへ

{ スペイン・ポルトガル…来航を禁止 (禁教のため)

幕府…洋書の輸入を制限、

1641年、平戸のオランダ商館を長崎の ( ) へ 108 p上①②

オランダ ( ) などを提出させ、海外の情報を独占 解説

中国…明にかわり、 (女真族) の成立、広大な地域を支配

正式な国交のないまま、清の商人が長崎に来航・貿易

長崎に ( ) 屋敷も置かれる

108 p左下③

朝鮮への窓口 (対馬)

資 103 p左上

( ) 氏が朝鮮との貿易を担当…釜山 (朝鮮) に倭館をおく

輸出…銀・銅、 輸入…朝鮮 ( ) ・生糸・絹織物・木綿

朝鮮 ( ) …将軍がかかるごとに就任祝いのお外交使節が来日

- ・ 江戸時代に計 12 回、400 ～ 500 名の使節団が江戸へ
- ・ 学者・医者…日本の学者・文人との交流

109 p④～⑥、資 93 p上2



#### 4 琉球王国とアイヌの人々への支配

1100~1111p

学習課題→琉球王国とアイヌの人々は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったでしょうか。

琉球への窓口

資 103 p 右上

110 p 上①

( ) 藩が 1609 年に ( ) 王国を支配→厳しく監督

・ 検地を行い百姓から年貢米を取り立て

・ 幕府や藩の管理下で琉球の明(清)への ( ) を認める  
中国の文化や産物、海外情報を得る

・ 輸出 (薩摩→琉球→中国へ)

…蝦夷地の ( )、( )、昆布・ふかひれ・なまこ

{ 輸入 (中国→琉球へ) …絹織物・医薬品・茶・陶磁器

・ 琉球特産の ( )、ウコン (漢方薬・染料に使用)

→薩摩藩の商人→大阪へ (利益を中国との貿易資金に)

琉球…将軍がかかわるごとに ( ) 使 (就任祝い)の使節) を江戸

琉球王がかかわるごとに ( ) 使 (感謝の使節) に派遣

110 p 左下②

蝦夷地への窓口

蝦夷地 (北海道) …耕地がとぼしく冷涼な気候→ ( ) がとれない

( ) 藩…アイヌの人々と交易、利益を得る権利を幕府が認める

蝦夷地の南西部を領地とし、( ) 地に住む 111 p ⑤ 地図

アイヌの人々…にしん・( )・昆布、毛皮を渡島半島・東北へ 111 p ③

→米・木綿・鉄製品などと交換

千島列島・樺太・( ) 東北部の人々とも交易

交易をめぐる衝突

資 103 p 左下

松前藩の武士…アイヌとの交易開始 (鮭がわずかな米と交換) 111 p ⑥

不利な交換比率…松前藩への不満→アイヌ主体の交易を求める

1669 年、( ) を中心に戦い→松前藩の勝利 111 p ⑦

18 世紀、松前藩…漁業交易を大商人に請け負わせる 交換比率さらに悪化

→漁場に多くのアイヌの人々がかかり出される

琉球とアイヌの人々のくらし (112~113 p)

琉球…紅型、三線、守礼門、シーサーの話

アイヌ…アイヌの衣服 (木の皮)、蝦夷錦 (絹織物) など

タイムトラベル⑦ 江戸時代をながめてみよう (17～18世紀ごろのある場面)  
次の場面を探してみよう! ①=、②=、③=、④=、⑤=、⑥=

## 第4章 天下泰平の世の中

116～117p

### 1 身分制社会での暮らし

学習課題→江戸時代の人々は、身分制社会の下でどのような暮らしをしていたのでしょうか。

#### 身分制度と武士

士農工商、えた・ひにん

秀吉の兵農分離を推進→武士と( )・町人の身分に区別 116p左②

他に「( )された人」が存在 117p上、人権

武士=支配者…主君に仕え、軍事・行政にかかわる義務

- ・名字(姓)や( )などの特権
- ・幕府や藩の役職につき、石高に応じて( )や( )を支給

#### 百姓・町人

116p左門グラフ

百姓…全人口の( )%以上、村に住み農業を営む、自給自足

・本百姓(農地をもち( )を納める)と( ) (農地なし)

・( )…名主(庄屋)・組頭・百姓代→村の自治

・税=( )…収穫の40～50%(四公六民→五公五民)

・安定して年貢を得るために…村を通し農民に細かい指示 資99p

{ 土地の売買を制限、( ) (お互いを監視) B・E

{ 年貢納入に連帯責任をとらせる

・「読み・書き・そろばん」…指示を理解、年貢等の計算・記録

町人(商人・職人)…城下町などに住む

・一部の地主・( )と、多くの地借・店借に分かれる じがり・たながり

町役人を選出→町奉行の監督下で町の自治

#### 文治政治への転換

17世紀後半、幕藩体制の確立、外交関係の安定

5代徳川( )…文治政治(武力)→学問・礼節を重視)へ転換 右資料

・学問の奨励…儒学の中でも( )を重視 仁義忠孝が大切

{ 大名と家臣→主人と奉公人、親方と弟子へ 117p右下③丁稚

{ 男の家長を主人とする「家制度」…( )が後継者

→( )の風潮(女性は常に男性に従う)

小さいときには親に、結婚して夫に、老いては子(長男)に従え



## 2 安定する社会と諸産業の発達

118～119p

学習課題→江戸時代の国内産業は、どのように発展していったでしょうか。

### 新田開発と農業技術の発達

戦乱のない時代→17～18世紀、人口急増

18世紀初めの人口…17世紀初めの約[ ]倍 (3000万人)

幕府・大名の対応…用水路をつくる、干潟や沼地を干拓 118p ③盆地に用水路→新田へ

農民の努力…農具の普及 (備中鍬・[ ]など) 118 p 上①②

・工夫 栄養価の高い肥料 ([ ]・油かすなど) 118 p 左の説明

↓

農書 (農業技術を記す) →木版印刷で全国へ

耕地面積・米の生産量の飛躍的增加→生活の安定 118 p 左下④

### 特産物の生産

日用品 (貿易統制で不足) の国産化へ (畿内→各地へ)

風土に合った作物 = ([ ]) として生産 119 p 上⑤～⑩

{ [ ] (庶民の衣料の中心) … [ ] 栽培の広がり ⑧  
・特産物の一部が領外へ→商業発達の原動力

醬油…関西→関東 (野田・鎌子へ)

### 漁業・鉱業・林業の発達

漁業技術の発達…海産物も特産物として各地へ

・釣り + 改良が進んだ網による漁

・九十九里浜の鰯… [ ] に加工 → 木綿栽培地など各地へ

・紀伊・土佐…捕鯨・ [ ] 漁

・赤穂 (兵庫) など瀬戸内地方… [ ] の大規模な生産 119 p 上⑦塩田

鉱業…採掘・製錬技術の進歩 → 金銀などの鉱山開発

・ [ ] 金山・ [ ] 銀山・生野銀山など → 幕府の収入

・貨幣の製造、重要な輸出品

林業…人口増加 → 建築資材・燃料用木材の需要、高まる 119 p 右資料

### 3 各地を結ぶ陸の道・海の道

120～121p

学習課題→交通網の整備は、都市や産業の発達にどのような影響を与えたでしょうか。

#### 交通の整備

**陸上交通**…大名の参勤交代などのため整備

- 〔 〕 (江戸日本橋が起点、街道中に宿場をおく)

東海道、中山道、奥州街道、甲州街道、日光街道

120 p 上地図

- 地方の街道の整備、〔 〕による通信も発達

120 p 上②

- 宿場町や〔 〕町も発達

**水上交通**…河川の改修、航路や〔 〕町の整備 (米などを運ぶ) 120 p 上地図

①の絵

- 西廻り航路…東北→日本海沿岸→瀬戸内海→大阪へ

- 東廻り航路…東北→太平洋沿岸→江戸へ

- 〔 〕廻船・樽廻船…大阪→江戸へ (日用品を運ぶ)

菜種油・木綿・しょうゆ・酒など

#### 三都の発展

産業・交通の発達→各地の都市が成長・**三都**の発展

**江戸**＝「( )のおひざもと」(政治の中心)、

- 人口の半分は武士 (旗本・御家人、大名と家臣)

- 人口約〔 〕万人 (18世紀初め) …世界有数の大都市

**京都**＝朝廷がある古代からの都 (〔 〕の中心)

- 高級織物 (〔 〕織など)、加工品・工芸品 (〔 〕焼など)

**大阪**＝「天下の( )」(商業の中心)

- 諸藩の〔 〕…全国から大量の年貢米・特産物が集まる

120 p 上①

#### 金融の発達と商人の台頭

東日本…〔 〕の貨幣 } 上方 (大阪・京都) から物資を江戸へ

西日本…〔 〕の貨幣 } 取り引きで大量の金銀の交換

〔 〕…金銀の交換、金銀と銭の交換、金貸し、為替の

(金融業) 取り引きなどを行う 為替…手形・小切手などの取り引き

大阪の両替商をたよって大名が借金→強い力を持つ

〔 〕 (同業者の組織) …幕府や藩に税を納めるかわりに 121p 上⑥

独占的に営業を行う特権を得る

商人…富を蓄え、経済面で武士を圧倒(江戸の〔 〕、 121p 上⑤

三井越後屋→三越へ

大阪の鴻池など

123 p 富山藩の薬種→薬づくり  
薩摩藩の黒砂糖づくり  
俵物(蝦夷地→薩摩藩→琉球→中国などへ)

#### 4 上方で栄えた町人の元禄文化 上方=京都・大阪など 124~125 p

学習課題→江戸時代前半にはどのような特色をもった文化が展開したでしょうか。

##### 町人が育てた元禄文化 資107 p

商業の発達・都市の繁栄→武士より町人が経済的にゆとり

**元禄文化** (17~18世紀、上方の町人中心の文化) 徳川綱吉の時代

- ・ [ ] の浮世草子 (町人の姿を小説にえがく)
- ・ 人形浄瑠璃 ( [ ] の台本) ・ 歌舞伎の流行 124 p③、資 99 p
- ・ **俳諧**… [ ] が芸術性を高める 125 p 右上⑤「奥の細道」
- ・ 鎖国→日本独自の文化の発展
- ・ [ ] …**浮世絵**の祖、「**見返り美人図**」→版画へ 125 p 上④
- ・ [ ] **尾形光琳** } (やまと絵の伝統を生かす) 124 p 上①②
- ・ [ ] の和算 (日本独自の数学) 125 p 右⑦
- ・ 渋川春海…暦を日本独自のものに修正

##### 現在に続く年中行事と暮らし

年中行事 (正月・節句など) …稲作や中国伝来の行事の影響

18世紀・農村… [ ] 祭り、端午の節句 (こいのぼり)、盆踊り

など、日常生活の節目の行事として定着

- ・ 「一日 ( ) 食」の庶民への広がり
  - ・ [ ] (菜種油などを使用) …照明として普及
- あんどん

「江戸時代前期をふりかえって」

上方の町人が文化の担い手になった理由は？

- ・ 武士より町人の方が経済的に豊かだったから。
- ・ 上方が商業・文化の中心だったから。



# 第5章 社会の変化と幕府の対策

126~127 p

## 1 貨幣経済の広まり

資 108 p

学習課題→徳川吉宗はどのような改革を行ったでしょうか。また、貨幣を使う機会が増え、農村ではどのような変化があったでしょうか。

### 徳川吉宗の政治

綱吉の政治の問題点→126 p 左の説明

幕府財政の悪化…金銀の産出量減少、江戸の大火事、富士山噴火

**享保の改革** (1716年～)…8代将軍 [ ] の政治 102 p 上、系図

<財政政策>

- [ ] …支出をおさえる
- 新田開発、豊作・不作に関係なく一定の [ ] 幕府の収入
- [ ] …参勤交代の軽減→幕府に米を献上 } を増やす
- (結果) 商業の発達による新時代に対応できず

→米の値下がり + ききん → [ ]

<政治改革>

- [ ] の制定…裁判や刑の基準を定める 126 p 左下、資料
- [ ] の設置…庶民の意見を取り入れる 小石川養生所の設置
- [ ] など有能な人材の登用 足高 (たしだか) の制
- 実学 (天文学・医学など日常生活に役立つ学問) の奨励
- …漢文に翻訳された洋書の輸入制限をゆるめる
- 便利な製品・必要な知識を取り入れ、独自に改良 127 p ⑦

医学…杉田玄白、科学…平賀源内ら

飢饉対策…青木昆陽  
甘藷 (さつまいも)

### 工業の発展と変わる農村

18世紀、 [ ] (綿花・紅花・藍) の栽培←幕府・藩の支援

生産者…商人 (問屋) から原料や道具などを借りる

→家内で手工業による商品作り = [ ] ④⑤⑥

→先進的な技術が地方へ→紙・綿織物などが大量に流通

生糸 (鯉・絹織物の素材) …桐生・上田などで国産化へ 群馬・長野

農村…農具・干鯛・綿織物を買ひ、作物を売る→ [ ] の流通

**豊かな農民**…商人との取り引きに成功→土地を集め [ ] へ

↑ ↓ 格差が生まれる 小作料を納める ↑

**貧しい農民**…土地を失ひ、地主から耕作地を借り、 [ ] へ

都市に出かせぎ 農民が都市へ…兵農分離は?

## 2 くり返される要求と改革

128～129p

学習課題→百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのでしょうか。

百姓一揆と打ちこわし

天災などで凶作→年貢の減免を領主に要求 } 訴えを退けると  
不正を行う役人をやめさせるよう要求 } → [ ] へ ②・③  
・百姓が城下へ…幕末には暴力をとまなう一揆へ  
都市…米を買いしめた商人に対し、[ ] を行う 128 p上①  
身分制度の動揺…幕府、身分の秩序を引き締める法令  
→体制の維持を図る

128 p 左下、財政改革に成功・米沢藩

### 田沼意次の政治

資 110 p

18 世紀後半、**老中** ( [ ] ) …年貢に頼る従来の政策を転換 129 p ⑤  
・商品の流通を江戸へ→[ ] の営業権を認め、税をとる 129 p上④  
・長崎貿易…銅・俵物を輸出し、金・銀を輸入  
→商業の活性化・収入の拡大へ  
・干拓工事・[ ] の開拓 役人の子はにぎをよくおぼえ  
(結果) 幕府中心の政策・( [ ] ) の横行への批判  
東北地方の冷害・浅間山の噴火→( [ ] )  
→百姓一揆・打ちこわしが多発→老中を退く

### 松平定信の政治

1787～93年

資 111 p

**老中松平定信**・( [ ] ) の改革…吉宗の政治を理想とした政策 129 p ⑥

質素倹約、農村と幕府の財政立て直し、ききん対策

都市に出かせぎに来ていた者を村に帰す  
[ ] の栽培を制限→米など穀物栽培を奨励  
ききんに備えて米を蓄えさせる 各地に倉をつくる  
旗本・御家人の生活難←町人からの [ ] の帳消し 棄捐令  
庶民が読む出版物の内容の取りしまり←秩序の回復 風俗を正す  
幕府の学校で [ ] 以外の儒学を禁止 昌平坂学問所・⑦  
[ ] による人材登用  
軽犯罪者の更生のための [ ] をつくる

厳しい改革への批判→定信の辞任後も幕府の基本政策となる

[ ] 船の接近…幕府、海防対策もせまられる

白河の清きに魚の住みかねて もとの濁りの田沼恋しき 131 p下



3 江戸の庶民が担った化政文化 130～133 p 資 112～113 p

学習課題→江戸時代後半には、どのような特色をもった文化が展開したでしょうか

庶民による化政文化

田沼の江戸中心の政策→文化の中心も上方から江戸へ  
貨幣の改鑄→多くのお金が出回る、大ききんも起こらず  
→庶民もお金で娯楽を楽しむ

化政文化…19世紀初め、文化・文政期が中心

- 歌舞伎、相撲、寄席(落語)が庶民に親しまれる 130～131 p上
- 川柳・[ ]の流行、俳諧(与謝蕪村・[ ]ら) 130 p ④
- 印刷技術の発達→[ ](多色刷りの浮世絵) (美人画) 130 p ④
- 町人+ゆとりのある百姓…寺社参詣などの旅へ 小伊勢参り…伊勢神宮
- [ ](歌川(安藤)広重の風景画) 130 p ⑤
- 富嶽三十六景 東海道五十三次・江戸名所百景
- 文学…[ ]「東海道中膝栗毛」(旅の案内書) 130 p左下②③
- [ ]「南総里見八犬伝」(長編小説) 132 p上、浮世絵とゴッホ

国学と蘭学

国学…仏教・儒教が伝わる前の日本古来の精神に学ぶ

- [ ]の「古事記伝」→国学の大成
  - 社会への批判や尊皇との結びつき→[ ]運動に影響
  - 蘭学…吉宗、洋書の輸入禁止をゆるめる→西洋の学問を研究
  - [ ]・前野良沢ら…「[ ]」の出版 132 p左⑫⑬  
オランダ語の人体解剖書を翻訳
  - [ ]…日本初の発電機・寒暖計をつくる エレキテル
  - 上方の学者…私塾をつくり、町人・百姓をまじえて学ぶ 緒方洪庵の適塾
  - オランダ商館の医師[ ]…蘭学者・医学者を育成
  - 西洋の測量術…[ ]が日本地図を作成 計算ができなきや測量できず  
(和算の広まり) 133 p ⑭⑮
- 外国船の来航→正確な日本地図が必要

庶民の教育

- 18世紀頃～[ ]の増加…町人・百姓にも教育が普及 133 p ⑯⑰
- 「読み・書き・そろばん」→日本の識字率、世界的にも高水準
- [ ]…武士の子弟を教育→人材育成へ 133 p ⑱



# 第5章 社会の変化と幕府の対策

126~127 p

## 1 貨幣経済の広まり

資 108 p

学習課題→徳川吉宗はどのような改革を行ったでしょうか。また、貨幣を使う機会が増え、農村ではどのような変化があったでしょうか。

### 徳川吉宗の政治

綱吉の政治の問題点→126 p左の説明

幕府財政の悪化…金銀の産出量減少、江戸の大火事、富士山噴火

**享保の改革** (1716年～)…8代将軍 [ ] の政治 102 p上、系図

#### <財政政策>

- [ ] …支出をおさえる
- 新田開発、豊作・不作に関係なく一定の [ ] 幕府の収入
- [ ] …参勤交代の軽減→幕府に米を献上 } を増やす
- (結果) 商業の発達による新時代に対応できず
- 米の値下がり + ききん → [ ]

#### <政治改革>

- [ ] の制定…裁判や刑の基準を定める 126 p左下、資料
- [ ] の設置…庶民の意見を取り入れる 小石川養生所の設置
- [ ] など有能な人材の登用 足高 (たしか) の制
- 実学 (天文学・医学など日常生活に役立つ学問) の奨励
- …漢文に翻訳された洋書の輸入制限をゆるめる
- 便利な製品・必要な知識を取り入れ、独自に改良 127 p⑦
- 医学…杉田玄白、科学…平賀源内ら 飢饉対策…青木昆陽
- 甘藷 (さつまいも)

### 工業の発展と変わる農村

18世紀、 [ ] (綿花・紅花・藍) の栽培←幕府・藩の支援

生産者…商人 (問屋) から原料や道具などを借りる

→家内で手工業による商品作り = [ ] ④⑤⑥

{ 先進的な技術が地方へ → 紙・綿織物などが大量に流通

農村…農具・干鰯・綿織物の素材) …桐生・上田などで国産化へ 群馬・長野

**豊かな農民**…商人との取り引きに成功 → 土地を集め [ ] の流通

↑ ↓ 格差が生まれる 小作料を納める ↑

**貧しい農民**…土地を失い、地主から耕作地を借り、 [ ] へ

都市に出かせぎ 農民が都市へ…兵農分離は?

## 2 くり返される要求と改革

128~129p

学習課題→百姓の要求と財政難に対して、幕府はどのような対応を行ったのでしょうか。

百姓一揆と打ちこわし

天災などで凶作→年貢の減免を領主に要求 } 訴えを退けると  
不正を行う役人をやめさせるよう要求 } → [ ] ②・③  
・百姓が城下へ…幕末には暴力をとまなう一揆へ  
都市…米を買いしめた商人に対し、[ ] を行う 128 p上①  
身分制度の動揺…幕府、身分の秩序を引き締める法令  
→体制の維持を図る

128 p左下、財政改革に成功・米沢藩

### 田沼意次の政治

資 110 p

18 世紀後半、老中 ( [ ] ) …年貢に頼る従来の政策を転換 129 p ⑤  
・商品の流通を江戸へ→ [ ] の営業権を認め、税をとる 129 p上④  
・長崎貿易…銅・俵物を輸出し、金・銀を輸入  
→商業の活性化・収入の拡大へ  
・干拓工事・ [ ] の開拓 役人の子はにぎをよくおぼえ  
(結果) 幕府中心の政策・ ( [ ] ) の横行への批判  
東北地方の冷害・浅間山の噴火→ ( [ ] )  
→百姓一揆・打ちこわしが多発→老中を退く

### 松平定信の政治

1787~93年

資 111 p

老中松平定信・ ( [ ] ) の改革…吉宗の政治を理想とした政策 129 p ⑥  
質素儉約、農村と幕府の財政立て直し、ききん対策  
都市に出かせぎに来ていた者を村に帰す  
[ ] の栽培を制限→米など穀物栽培を奨励  
ききんに備えて米を蓄えさせる 各地に倉をつくる  
旗本・御家人の生活難←町人からの [ ] の帳消し 棄捐令  
・庶民が読む出版物の内容の取りしまり←秩序の回復 風俗を正す  
・幕府の学校で [ ] 以外の儒学を禁止 昌平坂学問所・⑦  
・ [ ] による人材登用  
・軽犯罪者の更生のための [ ] をつくる  
厳しい改革への批判→定信の辞任後も幕府の基本政策となる  
[ ] 船の接近…幕府、海防対策もせまられる

白河の清きに魚の住みかねて もとの濁りの田沼恋しき 131 p下



3 江戸の庶民が担った化政文化 130～133 p 資 112～113 p

学習課題→江戸時代後半には、どのような特色をもった文化が展開したでしょうか

庶民による化政文化

田沼の江戸中心の政策→文化の中心も上方から江戸へ  
貨幣の改鑄→多くのお金が出回る、大ききんも起こらず  
→庶民もお金で娯楽を楽しむ

化政文化… 19世紀初め、文化・文政期が中心

- 歌舞伎、相撲、寄席(落語)が庶民に親しまれる 130～131 p上
- 川柳・[ ]の流行、俳諧(与謝蕪村・[ ]ら) 130 p ④
- 印刷技術の発達→[ ](多色刷りの浮世絵) (美人画) 130 p ④
- 町人+ゆとりのある百姓…寺社参詣などの旅へ お伊勢参り…伊勢神宮
- [ ](歌川(安藤)広重の風景画) 130 p ⑤
- 富嶽三十六景 東海道五十三次・江戸名所百景
- 文学…[ ]「東海道中膝栗毛」(旅の案内書) 130 p 左下②③
- [ ]「南総里見八犬伝」(長編小説) 132 p 上、浮世絵とエッセ

国学と蘭学

国学…仏教・儒教が伝わる前の日本古来の精神に学ぶ

[ ]の「古事記伝」→国学の大成  
社会への批判や尊皇との結びつき→[ ]運動に影響

蘭学…吉宗、洋書の輸入禁止をゆるめる→西洋の学問を研究  
[ ]・前野良沢ら…「[ ]」の出版 132 p 左⑫⑬  
オランダ語の人体解剖書を翻訳

- [ ]…日本初の発電機・寒暖計をつくる エレキテル
- 上方の学者…私塾をつくり、町人・百姓をまじえて学ぶ 緒方洪庵の適塾
- オランダ商館の医師[ ]…蘭学者・医学者を育成
- 西洋の測量術…[ ]が日本地図を作成 計算ができなきや測量できず (和算の広まり) 133 p ⑭⑮
- 外国船の来航→正確な日本地図が必要

庶民の教育

- 18世紀頃～[ ]の増加…町人・百姓にも教育が普及 133 p ⑯⑰
- 「読み・書き・そろばん」→日本の識字率、世界的にも高水準
- [ ]…武士の子弟を教育→人材育成へ 133 p ⑱



## 2年前期中間試験範囲の歴史

### 小テスト対策プリントの解答

< 1年5号 >

- 1、ローマ教皇 (ローマ法王)
- 2、十字軍
- 3、ルネサンス
- 4、ルター・カルバン
- 5、プロテスタント
- 6、イエズス会
- 7、香辛料
- 8、オスマン
- 9、コロンブス
- 10、バスク=ダ=ガマ
- 11、マゼラン
- 12、ゴア・マラッカ
- 13、アステカ王国・インカ帝国
- 14、オランダ
- 15、中継
- 16、種子島
- 17、南蛮人
- 18、堺・国友
- 19、フランシスコ=ザビエル
- 20、キリシタン大名

< 1年6号 >

- 1、桶狭間
- 2、足利義昭
- 3、武田勝頼
- 4、石山本願寺
- 5、樂市・樂座
- 6、明智光秀
- 7、関白
- 8、刀狩
- 9、太閤検地
- 10、兵農分離
- 11、バテレン追放令
- 12、文禄
- 13、李舜臣
- 14、慶長
- 15、狩野永徳
- 16、千利休
- 17、南蛮
- 18、活版印刷
- 19、歌舞伎おどり
- 20、人形浄瑠璃

学校再開後に「小テスト」を実施する予定です。満点がどれ  
るよう、休校中にしっかり覚え、漢字も正確に書けるようにし  
ておきましょう。